



六郷 ろくごう

六郷小学校

H30. 7. 20

No. 15

地域に貢献し、地域から学ぶ

「地域貢献」「地域の課題解決」を目指した総合的な学習の時間やボランティア活動を行ってきました。これまでに何度もお伝えしてきたように、その成果は大きなものがありました。それは、「自分達でも地域に貢献できるんだ」という充実感と、「地域の方々と触れ合うことで、たくさんの事を学ぶことができた」という満足感です。

保護者の方からも、学校評価の中で次のようなお言葉をいただきました。

- 地域の人材や施設を生かそうという取組は、とても良いと思います。自分達の住む地域のことを知ることによって将来の希望をもって生き生きと生活できるのではないかと感じております。（1年）
- 町行事へのボランティアは、やった本人はものすごい充実感を覚えたようでした。（ついてくださった先生方は大変だったでしょうが）（6年）
- 修学旅行のPR活動やボランティアでのPR活動の際に、自主的にミニ天筆を作ったり、練習したりする姿が見られました。自分から行動することができるようになったのは、先生方のおかげと感謝しております。（6年）

5年生は商店街のゴミ拾い活動

5年生は話し合っ、商店街を盛り上げるために、「ゴミ拾い」をすることにしました。たくさんのアイデアが出されたのですが、まずは第1弾としての挑戦となりました。写真のように、ゴミ拾いもがんばってくれましたが、それ以上に良かったことは、地域の方々と触れ合えたことです。あいさつを交わしたり、「朝は何時に開いているんですか?」「夜市でもやっていますか?」といった質問をしたりしました。

子ども達は、思った以上に人通りが少ないことに驚いたようで、自分達の取組が大事であることを実感したようでした。とにかく、地域に出かけることで、自分達がすべきことが見えてくるのではないかと感じた時間でした。



3年生は「アンケート調査」を実施

3年生の総合学習は「六郷の自慢を守ろう」です。そこで3年生は話し合っ、「自慢アンケート」を行いました。地域の方々に、「六郷の自慢は何ですか?」「なぜそれが自慢だと思いますか?」といった質問に答えてもらうものです。3年生の段階でアンケートを行うことも、とても良い勉強になると思いますが、それ以上に良かったことは、そのアンケートを自分の家の近所の人をお願いすることです。3年生にとっては、近所といえどもお願いしに行くことには抵抗があります。しかしながら、地域の方々と触れ合うという点では、アンケートのお願いは有効であると感じました。実際には、全員が近所の方のアンケートをお願いできたようです。



清水を巡りながら

4年生は、お年寄り目線の考え方で

4年生は「福祉」に関する学習に取り組んでおり、先日「杏授苑」と「ロートピア緑泉」を訪問しました。そこで気付いたことは、「お年寄り目線」で考えなくてはいけないということでした。次回訪問する際には、お年寄り

に楽しんでもらうイベントを行う予定ですが、当初考えた内容では喜んでもらえないことが分かりました。そこで「ポケモンクイズ」をやめて「方言カルタ」をやることにしたり、歌も学校の歌ではなく、美空ひばりなどお年寄りの好きな歌を考えてやることにしたりしました。未来の福祉のあり方が少し理解できてきました。



6年生は地域の方と共に「夜市」に向けて

「食べ歩きボランティア」に続いて、8月11日に行われる「夜市」にも協力することになっています。「夜市」を企画運営している実行委員会からも、ぜひ子ども達の協力をお願いしたいとのことでした。6年生の総合学習のテーマは「町づくりに挑戦しよう」です。「夜市」への協力は、まさにそのテーマに合致します。今回は、テント2張りをお借りして、そのスペースでお客様に楽しんでもらえる企画を子ども達がすることになりました。

そこで、APPの方とも話し合っ、学校で「夜市実行委員会」を行い、6年生と一緒に話し合うこととなりました。下の写真が、その時の様子です。実行委員の方が10名も集ってくれました。今回は、どんな企画をするのかについて決める事が目的でした。そこで、グループごとに何をやるか話し合うこととし、実行委員の方が10名も来てくれたので、各グループに入って一緒に話し合ってもらいました。



大人と一緒に話し合うことの大切さを感じた時間でした。ましてや地域の事を第一に考えてくれている大人とじかに話し合える経験は、これからの生き方に影響を与えることになると思います。

「地域との連携」は、予想以上に子ども達に大事なものを与えてくれました。



1～3年生の授業から

暑い毎日ですが、下学年の子ども達も教室でしっかり勉強に取り組んでいます。



「夏休みは、かけがえのない体験を」

いよいよ夏休みがスタートです。どうか子ども達にとって、成長につながる「かけがえのない体験」をお願いします。何も遊びに行くことだけではなく、「感動できる本に出会う」「一生懸命に研究に取り組む」「家族に喜んでもらえる手伝いをする」など、子ども達にとって心に残る体験ができればと願っています。勉強は何も教室の中だけではありません。むしろ、夏休みにこそ、本当の勉強ができるのではないかと思います。